

学校へ行ってみよう

●学校の日は、このようになっています

〈ある小学校の場合〉

時 刻	日 課
7:15 ~ 8:00	登 校
8:20 ~ 8:35	朝 の 活 動
8:45 ~ 9:30	1 時 間 目
9:35 ~ 10:20	2 時 間 目
10:20 ~ 10:45	休 み 時 間
10:45 ~ 11:30	3 時 間 目
11:35 ~ 12:20	4 時 間 目
12:20 ~ 13:30	給 食
13:35 ~ 13:50	清 掃
14:00 ~ 14:45	5 時 間 目
14:50 ~ 15:35	6 時 間 目
15:35 ~ 15:50	帰 り の 会
16:05	下 校

＊日課は若干異なりますので、詳細は各学校にお問い合わせください。

＊中学校では、放課後に部活動が行われています。

＊先生方は授業終了後、職員会議や学年会議、また校内研究や研修等をします。

◆◆ 学校へのお問い合わせやご相談は ◆◆

学校への問い合わせや相談の窓口は、教頭先生です。学級担任の先生と話したい場合は、昼休みか放課後だと連絡がとりやすいでしょう。

その他のご相談は、市内各公民館の担当者や、教育委員会生涯学習・文化財課の統括コーディネーターに気軽にご連絡ください。



※統括コーディネーターとは・・・

地域の皆さんと学校や公民館との連絡調整のため、教育委員会に配置されています。

学校って、こんなところですよ

POINT 1

学校の活動にはねらいや計画があります

- 学校には、「こんな子どもに育ってほしい」という願いを込めた教育目標があります。これは、地域や子どもの実態を踏まえ学校ごとに決めています。
- 授業や学校行事など1年間の教育活動の計画もあります。これに沿って、毎日の活動が行われています。
- 授業にはねらいがあり、子どもが考える時間を大切にしながら、計画的に行われています。

POINT 2

先生方には、授業以外にも学校のための仕事があります

- 学校では「校務分掌」といって、子どもの安全や学校行事、地域との交渉などのたくさん仕事を分担して行っています。

POINT 3

学校は子どもの安全を守っています

- 先生方は日頃から、子どもたちの安全について気を配っています。ですから、突然の来校者や訪問者については、安全を確かめます。このため「どんなご用ですか？」とたずねられたりします。

POINT 4

学校は子どもの人権を守っています

- 先生方は、児童生徒やその家族についての情報を口外することはありません。それは、これから成長する子どもたちの将来を考えてのことです。ボランティアが、学校で知り得たことを口外してはいけないのも、このためです。軽はずみな言動が子どもたちに思いがけない影響を与えてしまうことがあります。

キーワードは、「子どもが、まんなか」です

こんなことに、気をつけましょう

こ

心のもったあいさつで一日をはじめましょう

コミュニケーションの第一歩は、あいさつです。

子どもたちと過ごす一日が、明るいあいさつで始まるといいですね。

ど

どんな子どもにも、いいところ

子どもたちのいいところや、がんばっている姿を見つけてほめてあげてください。きっとそれが、子どもたちの自信につながります。

も

持ち物は、「名札」「上履き」「明るい笑顔」

ボランティアの三種の神器は「名札」と「上履き」、「明るい笑顔」です。

が

学校には秘密の情報がいっぱい

学校にはさまざまな個人情報があります。子どもたち一人ひとりを大切にする意味でも、子どものプライバシーを守りましょう。

まん

万が一の時は、まず連絡を

約束の時間に行けなくなった等、不測の場合は、すぐに学校に連絡をしましょう。

な

何でも相談できる仲間になりましょう

学校の方針を理解・尊重し、何でも話し合いましょう。

子どもの様子で気にかかることがあったら、担任や教頭先生などに気軽に相談しましょう。

か

活動は、長い目で見て楽しんで

活動の成果が出るまでには時間がかかります。あせらず気長に進めましょう。



子どもたちは、かけがえない存在 未来の宝です

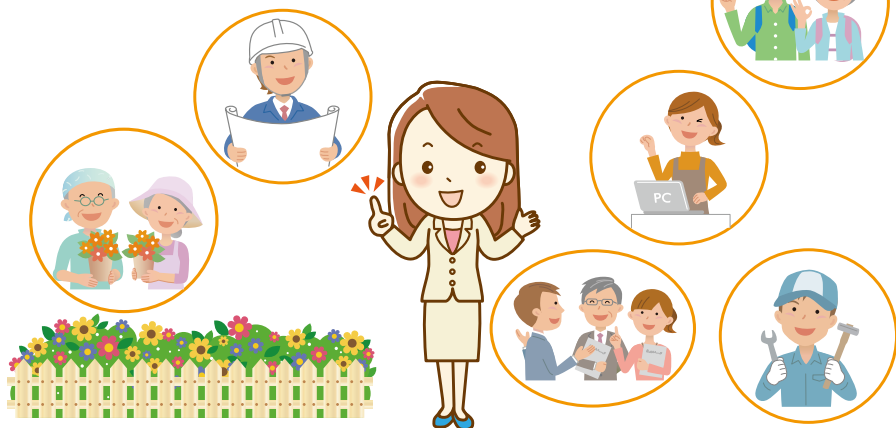


- ☐ 子どもの人権に配慮し、尊重しましょう。
- ☐ 時には毅然とした態度も大切です。
- ☐ 子どもの安全を第一に考えましょう。
- ☐ 体罰は、いかなる場合においても絶対にやめてください。
- ☐ 子どもたちや子どもの家族に関わる個人情報は、学校外では話しません。

みんなで大切な子どもたちを育てましょう

学校支援ボランティアで
先生方と力を合わせて、
すべての子どもたちを育
むために

あなたの経験や
専門性を
活かしてみませんか



ボランティア お悩み解消Q&A

Q：わからない質問が出されたら、どうしよう？

A：子どもたちは好奇心が旺盛です。何でも知りたいという気持ちに満ちあふれていますから、大人には考えつかないような質問もします。そんな時は「調べてからお話するね」と、伝えていただければ結構です。



Q：子どもたちがいじめやけんかをした時は、どうしたらいいの？

A：毅然とした態度で臨みましょう。中途半端な対応はかえって状況を悪化させます。場所や時刻、誰が関わっていたかなど、先生方に報告してください。

Q：落ちつきのない子どもには、どう対処したらいいの？

A：できるだけゆったりとした態度で、聞くべき時は聞かせる、けが等の可能性がある場合は注意するなど、けじめのある態度で接しましょう。また、その時の様子を、先生方に報告・相談することは今後の活動のために役立ちます。

Q：「せっかく楽しみに学校に来たのに・・・」先生方は冷たい態度。なぜ？

A：学校はたくさんの子どもたちを抱えています。思いもかけないようなトラブルが突然発生することがあります。約束の時間に職員室にいないでお待たせすることもあるかもしれません。どうか長い目で見ていただき、子どもをまんかにして、良い関係を根気強く作っていきましょう。

Q：「以前行った〇〇小学校ではこうしてくれたのに」学校ごとに対応が違うのはなぜ？

A：同じ上田市内の学校でも、子どもも先生方も全く違います。学校ごとに異なっていることは、地域の教育活動をより豊かで個性的なものにするために大切なことです。違っていても当たり前のことです。



Q：ボランティアには行っているけれど「この人、誰？」っていう

目で見られるのがつらい・・・。

A：ボランティア活動を行う学校では、できるだけ早い時期に全教職員、全児童生徒に紹介してもらおう機会を作ってもらいましょう。紹介カードの掲示をしたり、全校朝会やPTA総会等で紹介している学校もあります。

Q：活動中に事故があった場合は、どうしたらいいの？

A：【子どもの事故の場合】

すぐに近くにいる先生に連絡し、対応してもらいましょう。

【ボランティアの事故の場合】

活動中の不測の事態に対応するため、ボランティア活動保険に加入したすべての皆さんに、教育委員会が「加入者証」を発行します。名札と共に日常的に携帯してください。事故の事務手続きは、教育委員会が行いますので、学校を通してご連絡ください。

Q：学校支援ボランティアに関する研修はあるの？

A：上田市では、活動を推進するための研修会として、「ボランティア・コーディネーター交流会」や「講演会」「視察研修」等を開催しています。また、長野県内各地の研修会の紹介もいたします。まずは、教育委員会や最寄りの公民館にお問い合わせください。※P 18・19「お問い合わせ先一覧」参照



交流会での様子



視察研修の様子（上越市）



グループワークでの発表